

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山県岡山市立高松中学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒701-1334 岡山県岡山市北区高松原古才 30 番地
E-mail takamatuc@city-okayama.ed.jp (代表)
Website http://www.city-okayama.ed.jp/~takamatuc/
幼児児童生徒数 男子 246 名 女子 247 名 合計 493 名
幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

我が校は「人類の理解と共生・発展」～高松中発” 全ての人々が共生できる社会を目指して” ～を活動のテーマとして、E S D の根本は人類愛に基づく相互の信頼と相手への敬意と捉え、E S D の実践を通して、異文化や宗教、習慣を自分たちの基準でのみ判断・評価するのではなく、相手の文化や習慣・風習を理解し、敬意を持って接する態度・人格の育成を目標とした。

具体的には、① 1 年時からの人権教育の集大成として、3 年時でいのちの大切さを考えていく「いのちを育む授業」、② 地域の史跡や文化・習慣から、日本や地域の文化を調べ、それを理解し誇りに感じられる活動としての「地域調べ」、③ 働くことや社会への貢献を身をもって体験し、実感していく「職場体験、ボランティア体験」、④ 異文化を理解し敬意を持って接する態度を養うことを目的とした外国人との交流 (国際理解教育) に関わる実践を行った。

① いのちを育む授業に係わる活動

通称「赤ちゃん授業」と呼ばれているこの活動は、1 年生から継続的・計画的に行ってきた人権教育の仕上げとして、実際の赤ちゃんに触れることで命の大切さと、自分を愛し育ててくれたすべての人たち・地域・環境を理解し感謝する授

業であり、毎年行っている。我が校の ESD 教育の集大成の事業であり、最も誇れる活動の一つである。

② 地域調べ

「地域発見」を目標とし、学区内および学区周辺へ目を向け、地域の特徴やつながりを調べ、地域を知るとともに郷土に誇りが持てるようにしている。また、放課後に地域の専門家を講師にお招きし開催している「高松歴史教室」を活用し、対象の遺跡以外の歴史遺産についても生徒の興味を喚起し、「地域調べ」により多く興味を持てるように工夫した。

③ 職場体験，ボランティア体験

仕事への興味・適性などを自ら考え、4日間の職場体験を実施した。体験先には地域産業の中核的事業者や地域ならではの職場も選び、職業と地域との関係も考えさせるようにした。ボランティア活動としては、田んぼの学校、地域の祭りや公民館活動、街頭募金活動、吹奏楽部による高齢者施設や病院、学区の学校園、祭り等での演奏を行った。ボランティア活動の記録として生徒全員に ESD パスポートを配布し、活動の意欲喚起とともに、達成感・充実感が持てるようにしている。

④ 国際理解教育としての外国人との交流

昨年度末に A L T の協力のもと、トルコ系イギリス人とのスカイプ交流に挑戦した。そこで得たノウハウと、交流の際に気をつけることを踏まえ、9月13日に有志によるオーストラリア人との交流会を行った。卒業生が在籍する総社南高等学校 E S S 部と連携し、日本文化を伝えるとともに、オーストラリア人から見た文化的な違いや、生活習慣・考え方の違いを体感することができた。交流の際には、相手にわかりやすくするために、お互いが見ている日本アニメを題材とし、その根底に描かれている東洋的なものの見方と、西洋的な考え方の違いなども、お互いが実感できるように工夫した。



① の写真（赤ちゃんを抱く生徒）



② の写真（地域調べで学区内古跡探索）



③ の写真（地域の祭りのボランティア参加）



④ の写真（スカイプによる豪州人との交流）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (人類間の理解と共生、発展)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input checked="" type="checkbox"/> 8. その他 (偏見無く他文化に接し、理解しようとする態度の育成と、相手及び異文化に対して敬意をはらうことのできる人格の育成)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他 (放課後や長期休暇等の授業外の時間)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

梅原猛全集（の一部）、梅原猛の講演「森と文明」、同氏の書籍「仏教の授業」、同氏のTV番組、21世紀は警告する（日本放送出版協会）、新約聖書、旧約聖書、神社の神職の話、僧侶の話、マレーシアのイスラム教徒の話、各種新聞のコラム等をを参考にしました。

また、日本のアニメ映画に描かれた根本思想を解説したネット情報を参考にしました。その都度、雑多な情報を検索し参考にしたので、ウェブサイト名は不明です。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

（１）の「活用の概要」に明示した①～③の活動を、各学年の年間の中心的な活動に位置づけ、入学から卒業までの３年間を見通した活動となるように教育課程での時間数を振り分けている。また各活動にＥＳＤの考えを盛り込み、表面的な活動ではなく「人類の理解と共生・発展」につながるように指導内容を考えている。具体的には、①のいのちを育む授業では、自分のいのちに関することだけではなく人類全体の愛に気づく授業に、②の地域調べでは、史跡の歴史やいわれだけではなく、その史跡が地域のとってどのような存在であるか、それに対する地域住民の心にまで踏み込むよう指導に心がけている。③の職場体験やボランティア活動では、生徒の自己肯定感と社会への帰属意識、自分が他者にとって大切な存在であることを実感できるように試みた。④は教育課程とは別の活動であるが、我が校のＥＳＤ教育の本年度の先端的・中心的活動としている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ユネスコスクールとしての活動が充実するように、学校関係以外に地域の代表者にも参加していただいている「高松中学校区ＥＳＤ推進協議会」を設置し、円滑に活動できるようにすると共に、地域の方々の協力をいただきやすくしている。校内分掌としてユネスコスクール係を作り、各学年や総合的な学習の係、特別活動係、道徳係、生徒会係などと連携しやすい組織づくりに心がけている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

校内的には、係内での反省と共に、年度末に行う「各分掌の反省・申し送りの会」で係外から意見や評価をいただき、対外的には年に二回開催される「地域協働学校推進協議会」で活動を報告し、外部からの意見をいただくと共に、評価をいただくようにしている。活動に対しては理解と評価をいただけているが、一番の課題は校内の後継者づくりであり、もう一つの課題は、地域で関わっていただける方が高齢であり、これからも支援がいただけるかどうか不透明な点である。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

高松中学校のwebページにユネスコスクールのページを作り発信している。イスラム教徒との交流は発信できたが、他の活動は、相手側の肖像権の許可をもらえてないので掲載できていない。

岡山市内の他校の活動とはかなりかけ離れているので、協働や協力の関係は築けていない。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

いのちを育む授業では、岡山市北保健センター、民生委員、愛育委員と連携した。国際交流としては、イスラム教徒との交流で、岡山市のESDコーディネーターや岡山大学と連携した。豪州との交流では、岡山県立総社南高等学校ESS部、及び豪州留学生の指導教官と連携を行った。また、我が校の活動に呼応して、高松公民館が外国文化を知る活動・外国人との交流を開催してくれた。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

他の学校では、生徒間や学校間の交流が多く、我が校のように人類全体に対する理解と共生をテーマに掲げているところが見当たらず、現在は単独での活動となっている。協力という意味では大学や高校と行っているが、ユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成と言う意味ではできていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

（1）の「活用の概要」に明示した①～③の活動は以前から行っていたものであるが、ユネスコスクールに認定される前は、どうしたら活動が深まるかを考えて計画していただけであった。今はESDの視点を加えたことで、到達目標がよりはっきりしてきた。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

ESDの活動を通じて、以下の力を身に付けさせたい力と考えている。
＜スキル＞「多面的・総合的に考える力」と「コミュニケーションを行う力」
＜態度＞「他者と協力する態度」「つながりを尊重する態度」
「進んで参加する態度」

そのために取り組む活動として以下を予定している。

「1年生」 地域調べ(地域に学ぶ)／表現しよう(総合学習発表会)／平和・人権(広島研修に向けて)
「2年生」 平和・人権(広島研修)／持続可能な都市、共生社会(職場体験学習)／表現しよう(総合学習発表会)／平和・人権(沖縄修学旅行に向けて)
「3年生」 平和・人権(沖縄修学旅行)／表現しよう(総合学習発表会)／いのちを育む授業(赤ちゃん授業)／進路選択・決定に向けて

また、学校全体で取り組む活動として

異文化理解(他の加盟校との交流、諸外国と人たちとの交流等)／ボランティア活動(有志、部活動)／高松歴史教室(地域協働学校との連携、年4回(うちフィールドワーク1回)／地域の諸団体と連携した取組(町内会、公民館、環境衛生組合、蘇生会、保興会)「田んぼの学校」「まほろば祭り」「古墳祭り」「地域の運動会」「クリーン作戦」「食と環境 復興」「清水宗治祭」「地域の伝統夏祭り」「防災キャンプ」「公民館祭り」「桃太郎線三駅清掃」「高松地区健康マラソン」

以上